

真空断熱サーバー

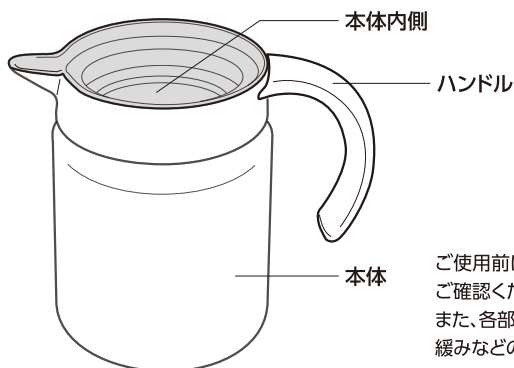
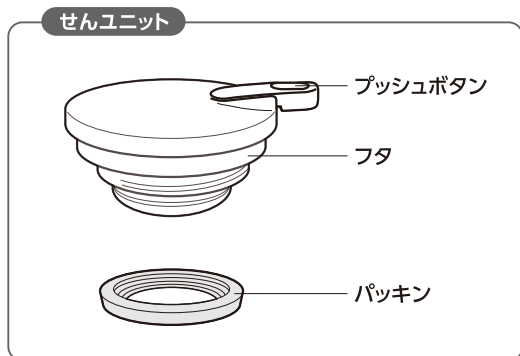
SV-600/800

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みの上、大切に保管してください。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



ご使用前に各部に異常がないことを
ご確認ください。

また、各部に亀裂、破損、凹み、曲がり、
緩みなどの異常が生じた場合は、使用
しないでください。

安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。



警告

死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。
また、いたずらには充分にご注意ください。

- *取りはずした部品を放置すると、誤飲して窒息する原因になります。
また、やけどやケガの原因になります。



絶対に火にかけないでください。

- *ハンドルに火が燃え移り、火災の原因になります。

注意

熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ず守ってください。

- 傾けた状態、または顔などを近づけた状態でプッシュボタンを押さないでください。

*飲みものが急激に出たり、飛散したりして、やけどなどの原因になります。

- 本体を急に傾けないで、ゆっくり注いでください。

*急に傾けると、飲みものが勢いよく出て、やけどなどの原因になります。

- 注ぎ終わったら、本体を立てた状態にし、プッシュボタンから確実に指を離してください。

*誤って倒すと、やけどや精密機器の故障、衣類や室内を汚すおそれがあります。

本体の口元に熱いヤカンなどをあてないでください。

- *本体が倒れて、やけどなどの原因になります。
また、口元が変形する原因になります。

パッキンを洗った後、フタに正しく取り付けてください。

【⇒P.7参照】

- フタは確実に閉めてください。

【⇒P.5参照】

- フタを閉めるときは本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。

【⇒P.5参照】

*漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

安全上の注意

飲みものを入れる目的以外に使用しないでください。

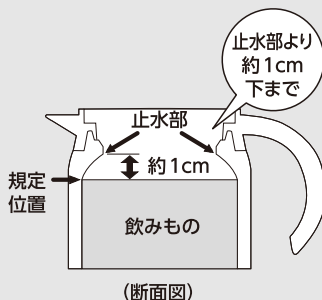
*ケガなどの原因になります。

パッキン以外のフタは分解できません。

*故障や事故の原因になります。

飲みものの量は図の規定位置までにしてください。

*入れすぎると、あふれたり、漏れたり、やけどなどのおそれがあります。



飲みものはその日のうちに飲みきってください。

*腐敗や変質の原因になります。長く放置すると、腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、フタが開かなくなったり、飲みものがふき出たり、フタが破損して飛散したりするおそれがあります。

交換用部品は専用のものを取り付けてください。【▶P.10参照】

*漏れてやけどや、ものを汚す原因になります。

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

*やけどや変形・変色の原因になります。

次のものは絶対に入れないでください。

●ドライアイス・炭酸飲料

*内圧が上がってフタが開かなくなったり、飲みものがふき出たり、フタが破損して飛散したりすることがあります。

●牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの

*腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などにより、ガスが発生して内圧が上がり、フタが開かなくなったり、飲みものがふき出たり、フタが破損して飛散したりすることがあり危険です。

●お茶の葉・果肉

*すきまなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

*変形・破損して、漏れや保温・保冷不良などの原因になります。

電子レンジでの加熱はしないでください。

*火花が飛んで、電子レンジが故障する原因になります。また、変形や変色する原因になります。

安全上の注意

冷凍庫には入れないでください。

* 故障や事故の原因になります。

改造・分解・修理は絶対にしないでください。

* 故障や事故の原因になります。

本体に飲みものを入れるときは、フタを取りはずし、倒さないように注意してゆっくり注いでください。

* 飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。

ドリッパーを本体に直接のせ、コーヒーを抽出するときは溢れ出ないように、注意してゆっくり注いでください。

* 飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。

保温性能が低下したときは使用しないでください。

* 熱い飲みものを入れると本体外側が熱くなり、やけどなどのおそれがあります。

商品に関する相談 / お問い合わせ先
〈お客様相談室〉

☎ 0120-984-009 (無料)

受付時間：9:00～17:00(土・日・祝・会社休日を除く)

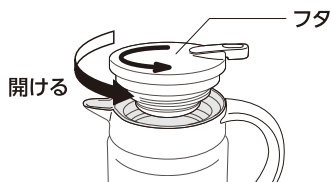
ご使用方法

はじめてご使用になるときは、中性洗剤を用いて洗浄してください。

1 フタをはずす

フタを矢印の方向に回し、本体からフタをはずします。

※ハンドルは外せません。
無理に力を加えないでください。



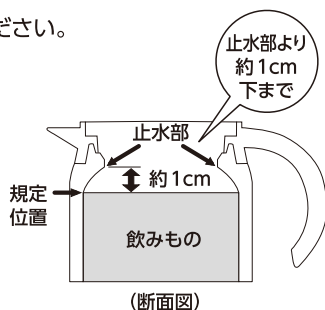
2 飲みものを入れる

飲みものの量は図の規定位置までにしてください。
入れすぎると、フタを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。

Point

保温(保冷)効果を高めたいときは、熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)すると効果的です。

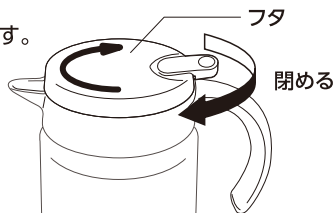
●予熱(予冷)後は、熱湯(冷水)を捨ててください。



3 フタを閉める

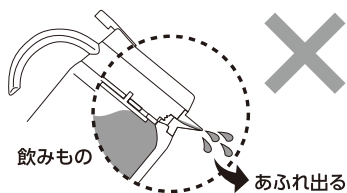
フタを矢印の方向に回して確実に閉めます。

※パッキンが確実に取り付けられていることをご確認ください。



フタを閉めるときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。

※飲みものがあふれ出たり、漏れたりして、やけどやものを汚す原因になります。



ご使用方法

4 飲みものを注ぐ

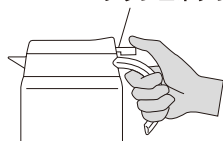
- ①本体を立てた状態で、ハンドルを持ち
プッシュボタンを押します。

傾けた状態でプッシュボタンを
押さないでください。

熱い飲み物を入れると内圧が上がり、プッシュボタンを
押すと勢いよく空気が出てくる場合があります。
プッシュボタンが固い場合、無理に押さずに蓋を開閉し、
空気を抜いてください。

※熱い飲みものが勢いよく出たり、飛散したりして、
やけどやものを汚す原因になります。

プッシュボタン

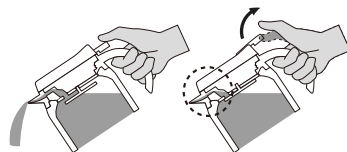
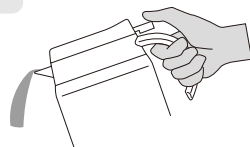


- ②本体をゆっくり傾けながら、注いでください。

(熱い飲み物を入れた場合は、
やけどにご注意ください。)

注いだ後、本体を傾けた状態で
プッシュボタンを
離さないでください。

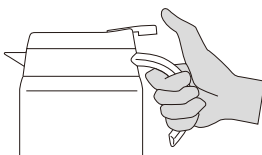
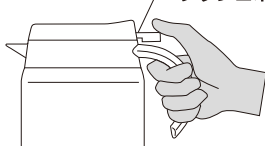
※フタ内部に飲み物が残り、
使用中に漏れて、やけどやものを
汚す原因になります。



5 注ぎ終わったら

本体を立てた状態にし、プッシュボタンから指を外し
注ぎ口を閉じます。

プッシュボタン



せんユニットについて

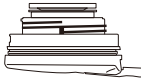
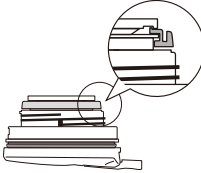

お手入れの際は、パッキンを取りはずし、きれいに洗ってください。

1 パッキンの取り付け方

パッキンをフタの突起部に合わせた後、全周にわたってはめ込みます。



横から見た図

パッキンが ついていない状態	○ パッキンが正しく ついていない状態	× パッキンが正しく ついていない状態
		

パッキンの取り付け位置、方向をまちがえないようにしてください。
飲みものが漏れる原因になります。

お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ご使用後は、すぐにきれいに洗い、充分乾燥させてください。
- お手入れは、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤をご使用ください。ブラシやスポンジできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、充分乾燥させてください。
- 汚れが落ちない場合は各部品を取りはずし、下表に従って台所用漂白剤(目安:30分)をご使用ください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、充分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名 洗い方		せんユニット		本体		
		フタ	パッキン	内側※1	外側	ハンドル
流水洗い		○	○	○	○	○
つけ置き洗い		×	○	○	×	×
漂白剤	酸素系	×	○	○	×	×
	塩素系	×	○	×	×	×

- ※1: 漂白剤を使用する場合は、せんユニットを取り付けしないでください。
 本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険です。
 漂白剤を使用する場合は、止水部より約1cm下までにしてください。
 ハンドルの勘合部に入り込む可能性があります。

お手入れ上の注意



お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 煮沸はしないでください。
*熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚す原因になります。
- 食器洗い乾燥機などは使用しないでください。
*熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚す原因になります。
また本体の塗装のはがれの原因になります。
- 本体・フタは水中に放置しないでください。
*すきまに水が侵入し、カビや故障などの原因になります。
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
*サビや傷・故障などの原因になります。
- パッキン以外は塩素系漂白剤を使用しないでください。
*サビや保温・保冷不良などの原因になります。
- 本体外側は漂白剤を使用しないでください。
*塗装のはがれの原因になります。

不具合が生じたときは

こんなときは	ご確認ください	直しかた
飲みものが もれる	フタは確実に 閉まっていますか？	フタは、最後まで確実に閉めてください。 【➡P.5参照】
	パッキンは確実にセット されていますか？	パッキンは必ず取り付けてください。【➡P.7参照】
	パッキンの取り付け位置・方向 をまちがえていませんか？	パッキンの位置・方向に注意して確実にセット してください。【➡P.7参照】
	パッキンに異物などは ついていませんか？	異物などがついている場合は、確実に 取り除いて下さい。
	飲みものを入れすぎて いませんか？	飲みものは規定の量までにしてください。 【➡P.5参照】
	フタやパッキンが破損…	破損等しているときは、交換用部品をお買い求めの上 交換してください。【➡P.10参照】
	フタに水が溜まっている	水が内部に残っている可能性があります。 プッシュボタンを押した状態で、振ってください。
本体内部が 変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用し、洗浄してください。 【➡P.8参照】
	斑点状の赤いサビが 付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を 10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後に よく洗ってください。
	ザラザラしたものが 付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。 クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、せん ユニットを付けずに約3時間放置後によく洗ってください。
保温(保冷)が 効かない	十分に熱い(冷たい)飲み ものを、適量入れていま すか？	十分に熱い(冷たい)飲みものを規定位置近くまで 入れてください。飲みものの量が少ないと保温(保冷) 効果が不足する場合があります。また予熱(予冷)を しておくとう効果的です。【➡P.5参照】
	落としたり、ぶつけたりな ど強い衝撃を与えませ んでしたか？	サーバーの真空断熱構造が強い衝撃で破損して、真 空状態がなくなると、保温(保冷)が効かなくなります。 ➡サーバーが破損している可能性があります。お湯 をいれて、本体の外側が熱くなる場合は使用しな いでください。
本体内部や フタ・パッキ ンがにおう。	汚れが付着して いませんか？	お手入れ方法の欄をご参照いただき、 洗浄してください。【➡P.8参照】
	飲み物を長時間入れた ままにいませんか？	お手入れ方法の欄をご参照いただき、 洗浄してください。【➡P.8参照】
パッキンが 変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤をご使用ください。 カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品を お買い求めください。【➡P.8,10参照】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は
京セラお客様相談室0120-984-009(無料)にご相談ください。

交換用部品のご案内

本製品の各部品は下表の交換用部品名で別売しています。

容量	交換部品	対象商品	品番
600ml / 800ml (共通)	パッキン	共通 (SV-600 / 800)	サーパーパッキン SVヨウ
	せんユニット	ダークグレー (SV-600-GY / SV-800-GY)	サーパーせんユニット SV-GYヨウ
		サンドベージュ (SV-600-SB / SV-800-SB)	サーパーせんユニット SV-SBヨウ

◆せんユニット・パッキン類は消耗品です。1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面にザラつきや損傷のある場合は、交換してください。

交換用部品のお求め方法

商品底面に記載の品番をご確認の上、京セラ キッチンオンラインストア
<https://kyocera-kitchen.com/>にてお買い求めください。



商品に関する相談 / お問い合わせ先
(お客様相談室)

📞 0120-984-009 (無料)

受付時間：9:00～17:00(土・日・祝・会社休日は除く)

京セラ株式会社
宝飾応用商品事業部

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6
TEL 075-604-3462(直通)

※本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
※製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。
そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

© 2025 KYOCERA Corporation